

クリスマス会



もちつき大会



里だより

No.373

令和5年2月1日

一発行一

菊池郡大津町平川400番地

社会福祉法人 清和会

つくしの里

TEL 096-293-1550

FAX 096-293-1579



二月号もくじ



(ページ)

施設長より……………1

業務部より……………2

主任より……………3

職員より・事務局より……………4

サービス向上委員会より・

行事報告……………5

行事予定……………6

ありがとうございました・

編集後記……………7



つくしの里 ホームページ <http://www.tsukushinosato.or.jp>



施設長より

侵入者



先月、本誌で昨年はコロナとの戦いだったことを振り返ったばかりでしたが、今年はお正月早々、クラスターでスタートしました。対策については、これまでの経験を活かした対応を現場のスタッフが中心となって行ってくれました。陽性者発生の連絡を受け、ゾーニング、館内消毒、家族への連絡、受診の予約・通院、濃厚接触者の一斉検査、感染予防用品の準備・設置、勤務調整、各関係機関への連絡など。初動対応後は、収束まで地道な忍耐の日々。特に陽性になられた利用者さんを支援するスタッフは、率先して、より一層の感染対策を行い業務に就いてくれました。利用者さんが重症化されなかったのが幸いでした。今回の特徴としては、これまで罹患されていない利用者さん・スタッフのみが罹るといった状況でした。ウイルスは、巧みに隙間を潜り抜け侵入してきたようです。裏を返すと、同じ株であれば一度罹ったら罹りづらい性質があるということなのかもしれません。今後、対策をする上で一つの兆しになる気がします。ただ、オミクロン株の派生型ウイルスやインフルエンザ流行のニュースも流れ始めましたので、気が気ではない日がまだまだ続きそうです。

コロナウイルスのように見えない侵入者も困ったものですが、今回は、昨年行った防犯訓練についてお伝えしたいと思います。

平成二十八年に神奈川県相模原市の障害者施設で入所者十九名の命が奪われ、二十六名の重軽傷者を出した事件がありました。

それを機に多くの施設で防犯訓練（不審者への対応等）が取り入れられたり、サスマタ等の防犯グッズを設置されたところもあるのではないのでしょうか。福祉施設は地域との関りを深める取り組みや、障がいをお持ちの方への理解・啓もうのために開かれた施設を目指しているところも少なくありません。その様な中、防犯訓練はベクトルが逆に向いている気がします。その様な事件があった事実から、利用者さん・職員の命を守るためには致し方ないことなのでしょう。

さて、当施設の訓練では、職員一人が不審者役となり「施設長を出せー！」と施設内に侵入し敷地内を探し回るというシチュエーション。迅速な各部署への連絡と利用者避難と安全確保。数名の職員がサスマタ等を使い制止するまでが一連の流れでした。いざやってみての感想は「訓練と分かつていても怖かった」「サスマタもやってみないと使い方が分からない」などが挙がりました。火災想定での消火に行く場所が限定された避難訓練とは違い、館内を移動している不審者を探すことから始めなければなりません。訓練を通して、想定や想像しているもの以上の困難さや恐怖感を知ることが出来ました。実際に起こってはいけません。「もしも」「まさか」の事態に備える必要性を感じました。救命救急訓練や防災訓練同様に、利用者さん・職員の安心・安全な生活のためには、危機管理体制の確立や、大切な人を守るための工夫を続けたいと思います。

施設長 松永 一博

業務部より

施設のお財布事情



施設内の椿も初咲きを迎え、花壇では水仙が白い可愛い花を咲かせています。あつという間に一月も終わり、二月を迎えました。昨年も書いた覚えがありますが「一月は行く、二月は逃げる、三月は去る」の三カ月です。業務が山積していて気が急きますが、見落としがないように一つずつ片付けたいと思います。

さて、毎年のことですが、この時期は補正予算の計上を始め、次年度の事業計画作成に伴う予算案の作成にあたります。

つくしの里では、施設入所支援・生活介護・ショートステイ・グループホーム・計画相談・障害児相談の福祉サービスを運営していますが、コロナ前はいずれの事業も定員いっぱいがありました。コロナ禍になり、感染防止やクラスター発生による利用の自粛をお願いすることも増え、利用者数は激減。これに加え、在宅利用者さんのグループホーム入居や高齢者施設利用への移行等、生活介護の契約者数そのものも減少し、当然ながらここ数年の収入も減少傾向です。感染状況に合わせた施設利用基準も緩和しましたが、クラスターとなれば自粛をお願いするしかありません。

一方、ロシアによるウクライナ侵攻や世界規模での異常気象により食料品他、種々の物価高が連日報道されています。

今年度は九月と年明け一月の二回のクラスターで、この期間はほぼ全ての居室でエアコンはフル稼働でした。コロナ禍以前から

電気代が年々上昇していたので、契約内容を見直し、二年くらいは電気代が抑えられていたのですが、電気を作るための燃料コストが上昇し、現在の契約は継続が困難とのことで終了となりました。見直し前よりも電気代が上がることは目に見えています。各部署へ節電の協力を呼びかけ、居室や職員休憩室のエアコンの消し忘れがないように。また、明るくなったら電気を消して暗くなったら電気をつける。ストーブを使う時は効率的に温められるように窓や扉は閉めるように発信していますが、日々の業務が慌ただしく、目を向けるのは難しいようです。施設のお財布を預かる立場としては「節約係」になって、不要な照明や暖房器具のスイッチを切ってまわっています。

家庭と同様、施設においても使えるお金は限られています。食費・水道光熱費は命と生活の維持に直結しているので、過度な我慢を強いることはできません。コロナウイルスの影響で、利用者さんの一番の楽しみである外出が思うように出来ず、行事も縮小。職員研修も県外での開催は中止かオンライン開催と、本来であればお金をかけたところの支出も減っています。収入も減少している代わり支出も減少し、皮肉なことに収支バランスは保たれています。あるべき姿とは言えません。

コロナ対応や物価高に対しては助成もあるようです。申請要件を確認し、受けられる支援をいただきながら、しっかりとお財布を管理していきたいと思えます。

何か良いお知恵があれば、是非とも御指南ください。

事務長 光永 明日美

主任より

マラソンⅡきつい？



新型コロナウイルスの感染拡大で外出の自粛等が長引く中、運動不足を解消しようと、一人でも気軽に取り組むことができるジョギングをする人が目立っています。そして三年ぶりに開催される熊本城マラソンも残り一カ月を切りました。第十回の記念大会となるのですが、感染症対策を意識した変更点として、参加人数の縮小(二千人減)、スタートエリアを大幅に広げ(例年の三倍)、体調管理シートの提出や競技中以外のマスク着用などのガイドラインが設けられました。また、参加料の値上がりの影響か、エントリー控えもあつてか、フルマラソンの倍率は過去最低の1.3倍だったようです。

コロナによる中止を経て、この秋から本格再開となった全国の市民マラソン。コロナ前と比べ、規模の縮小や形式を変えるレースも多い中、それでも「四千億円弱の経済効果がある」と言われており、交通、飲食、宿泊、お土産などの消費に直結です。コロナによりオリンピックの存在意義まで問われる時代となりましたが、今こそ市民マラソンの存在意義や存在価値を見直す機会だと思います。

熊本地震の年、何気なく幼馴染とエントリーした熊本城マラソン。初マラソンの感想は「もう絶対走らない」でした。が、意地で完走したこともあって達成感は何とも言えないものでした。それから熊本城マラソンの他、福岡や宮崎まで足を運ぶようになりました。どこもコースには名所があり、景観の良い海沿いを走っ

たり、ご当地エイド(給水や補給食)を手取るのは楽しみの一つです。

そしてマラソンを始めて、何より健康志向になりました。完走と自己ベストに向けて練習をしますし、足腰への負担を考え身体を絞りと、食べ物にも多少気を付けるようになりました。マラソンのためにと言ったら言い過ぎですが、必然と仕事の効率も上がったような気がします。仕事の疲労やストレスを、ランニングで消費しているのでしょうか。運動と仕事の組み合わせが良いサイクルになってきつつあります。コロナ期間、楽しみのマラソンが中止となり、モチベーションも上がらず、目の前のことをこなすことに精一杯で、先を見据えて仕事に取り組み余裕がありませんでした。ここ最近では、少し落ち着いて配分できるようになり「仕事」も「ランニング」も絶対調?で楽しく感じます。三十代で始めたマラソン。今は四十代ですが、身体能力の開発余地は残っていると思います。加齢の影響で何らかの身体要素が衰えたとしても、ランニングを積み重ねていけば四十代では心肺機能は衰えない、「心肺(機能の低下)は心配ない」と記事にありました。

コロナ前に、利用者さんが参加していた駅伝やマラソン大会。今は何もかも中止となっています。参加することや外へ出ることでの気の持ち様、生活のハリ、心身の健康などへの影響は大です。形を変えて動き始めた市民マラソンに倣い、アフターコロナを待たずとも、どうにか利用者さんが切望する一泊旅行について、行先や内容、人数などを利用者さんと話し合いながら計画したいと考えています。

最後に、マラソンⅡきつい?でもクセになる。どうしてだろう。

主任支援員 長瀬 さくら

職員より



私が担当するKさんは小柄で可愛らしい方です。手先が器用で塗り絵や折り紙が得意です。芸術展では色とりどりの葉っぱやサツマイモ、ウサギ等をモチーフにして「秋の風景」と題した作品を出展しました。難しい折り紙も一生懸命折ってくれました。そんなKさんですが、時として自分の主張を曲げない頑固な一面もあります。最近「野菜は硬い」と思われているようで食べてくれません。「一回食べてみて、柔らかく煮込んであるから」と声を掛けると「あー、美味しい」と言って食べてくれました。もしかしたら私たちも思い込みがあって、利用者さんの気持ちが分かっていない事があるかもしれません。相手の気持ちを慮れるよう、柔軟な思考と優しい笑顔で接していきたいと思います。

(支援員 川上)

今年度より生活介護班3班へ異動となりました。異動前はフォローで3班の活動に参加したことはありましたが、関わりが少なかったので、初めのうちは利用者さん各々の得意・不得意分野や活動の種類・アプローチ方法等を把握するのに困惑していました。同じ班の職員や先輩職員の助けを受けながら、ようやく戸惑いなくアプローチできるようになりました。これからも積極的に関わり、利用者さんとの信頼関係と自身の成長につなげていきたいと思います。

(支援員 井)

事務局より



今年のお正月は例年に比べてとても暖かく過ごしやすいい日になりました。このまま春の気候に移るのかと思いきや、寒さが戻ってきたり、暖かくなったりと寒暖差の激しいひと月でした。新型コロナウイルスの脅威がまだまだ続いている中、インフルエンザやノロウイルスなど気を付ける病気が次々に猛威を振るっています。私も何度か病気で休むことがありましたので、手洗いうがいをこまめに行ったり、軽く運動したりと自分なりに対策をしています。どれ程の効果があるのかは分かりませんが、何もしないよりは良いかなと思います。皆さんは何か予防されていることはありますか？利用者さんの明るい声を聞き、私も負けずに病気に勝てる身体を作り、これからも元気に仕事をしていきたいと改めて思いました。

(事務局 井手)

施設 PR 委員会 今月の1枚！

プレゼント
ありがとう♪



サービス向上委員会より

■ 感染症【支援員 北島・川上・池田と】

新型コロナウイルスを始めインフルエンザやノロウイルスなど、数えきれないほどの感染症があります。委員会では報道されている情報を伝えたり、クラスター発症時すぐに対応できるよう備蓄品の確認と補充を行ったり不測の事態に備えています。コロナ禍となってからは、特にマスク着用の呼びかけを行いました。利用者さんにとっては、最初は慣れないマスクでしたが、声掛けを続ける事できちんと着用できるようになってきました。

感染症はいつ・どこで・誰が発症するか分かりません。施設内で感染症が発症すると一気に蔓延する恐れがあるため、利用者さんへは「うがい・手洗い」を徹底すると同時に、職員が“感染源”とならないよう消毒液を有効活用して感染予防に努めています。こまめに情報提供し、安心して過ごして頂けるよう今後も取り組んでいきます。

行事報告

※ 12/21 (水) ~1/20 (金) の実施分について報告いたします

★ クリスマス会【12月22日(木) つくしの里】

新型コロナウイルス感染予防対策の為、オンラインで実施しました。皆さんの出し物やダンス、飛び入りでのキーボード演奏もありました。どれも頑張って練習した成果が出ていたようです。一番の楽しみは、やっぱりサンタクロースからのプレゼント。サンタになりきった職員がプレゼントを配りました（サンタの衣装を着た職員の方がとても喜んでいただいているようにも思えますが・・・）。プレゼントをもらおうと皆さん大変喜ばれていました。

来年こそは、みんなで集まってクリスマス会が出来たらと思います。早くコロナがなくなる事を祈ります。
(支援員 山田)



★ もちつき大会【12月28日（水）つくしの里】

いきいきグループの方たちは体調面を考慮して室内で、きらめきグループの方たちは元気に外でもちをつきました。両会場とも、もちをつくのに合わせて元気よく「よいしょー！」のかけ声が響き渡り、利用者さん・職員ともに、終始、和気あいあいとした様子でした。

杵と臼でもちをつくという行為自体、最近では珍しい事となってきています。それに拍車をかけるかのようにコロナウイルスの影響もあり、薄れつつある伝統となってしまったようです。そんな中、もちつき大会を実施できたことは、利用者さん・職員ともに良い経験となったのではないのでしょうか。形は変わるかもしれませんが、今後も利用者さんに楽しんでいただくことを第一として、やってよかったと思ってもらえるように企画していきたいです。

（支援員 池田ト）



行事予定

☆ 節分会（つくしの里）

期 日：2月2日（木）

内 容：豆まきをして邪気を祓いたいと思います。節分メニューも楽しみです♪



ありがとうございました

今月の掲載分は、

令和四年十二月二十一日

令和五年一月二十日です

【寄付・寄贈】

- ・岩根 治美 様
- ・下田 くに子 様
- ・谷崎 信夫 様
- ・寺田 晴男 様
- ・三上 貴宏 様
- ・(有)千石屋石油 様
- ・アールエスエス 様
- ・日清医療食品(株) 様
- ・リニエルサプライ 様
- ・【ボランティア】
- ・村里 和洋 様
- ・坂田 昌子 様
- ・竹山 眞事 様
- ・田上 修二 様
- ・古川 信子 様
- ・平田 靖人 様



誠にありがとうございました。
利用者さんの為に使用させて頂きます。

※お詫びとおことわり
里だより担当では、毎月十分注意して、
記事の記載、確認をしておりますが、誤字
脱字等がございましたら何卒ご容赦して
いただきたく存じます。

編集後記

つくしの里は、年明け早々からコロナウ
イルスのクラスターとなつてしまいました
た。そのため、一月四日の参拝は理事長を
始めとする代表者四名で日吉神社に行つ
てきました。どうか無病息災で過ごせませ
ように……

令和四年度も残すところ約二カ月です。
年度末と新年度に向けた業務が目白押し
です。世間ではインフルエンザも流行して
いるようですので、体調管理を万全にして
取り組んでいきたいと思ひます。
皆様もどうぞご自愛ください。

1月のあれこれ



事務長お手製！！
迎春リース🎀
事務室に飾りました🎵



1月中旬
最強寒波がやって
きました！！
つくしも氷柱が出
来るほどでした🌨



寒さに負けないぞ★
(*^▽^*)

